

プラごみ再利用 洗剤容器に

6ト処理、新製品用55万本生産

P&Gジャパン(神戸市中央区)は6日、日本国内の海岸で集めた海洋プラスチックごみを再生し、容器の原料に使った台所用洗剤の新製品を発表した。プラスチックによる海洋汚染が世界的な問題となる中、世界最大の日用消費財メーカーとして、環境保全に取り組む姿勢を示す。

P&Gジャパン

プラスチック」とし、近く発売する。生産量は55万本で、海洋プラごみの再生製品では世界最大規模という。

清掃ボランティアが長崎県の海岸で回収したプラごみのうち、ペットボトル20万本(6ト)を国内で再生処理。ジョイオーシャンプラスチックの容器の25%に使った。海洋プラごみは劣化が激しく再生には特にコストがかかるが、販売価格は従来品と同程度にする。

この日、東京都内で会見したP&Gのスタニスラブ・ベセラ社長は「(プラスチックを多く使う)業界を代表する者として、プラごみをどう管理するか業界に示す責任があると思う」とあいさつ。「消費者にも参加してもらい、

私たち全員がこの課題に取り組めることを(各家庭に置かれる洗剤を使って)伝えていきたい」と話した。(西井由比子)



ラ社長(右) 東京都内

- ① P&Gジャパンが近く発売する台所用洗剤「ジョイ オーシャン プラスチック」の容器に海洋プラスチックごみを再生したものを使用するのなぜですか？

- ② 「ジョイ オーシャン プラスチック」の生産本数は何本でしょうか。

- ③ 容器に作るために使用した20万本のペットボトルはどこで回収されましたか。

- ④ 東京都内で会見したスタニスラブ・ベセラ社長はあいさつで、どんな責任がありましたか。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。